

花高同窓会会報



第112号

発行 平成28年11月25日

秋田県立花輪高等学校
同窓会事務局

〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12

TEL0186-23-2126 FAX0186-23-2137

URL <http://www.ink.or.jp/~hanakoudosu/>

印刷 (株)大館印刷



会長挨拶



ご協力くださいました皆様に感謝

花輪高校同窓会 会長

井上 高 廣 (高18期)

花輪高校創立九十周年記念式典・講演会・祝賀会は、十月一日好天に恵まれ爽やかな気候の中で多数のご来賓、恩師、保護者、同窓生の参加の下、厳粛かつ盛大に行われました。

花輪高校創立九十周年を機に母校へ帰ろうと、全国の同窓生に呼びかけたところ沢山の方に参加していただき有難うございました。東京同窓会をはじめ遠くは神戸や京都、八丈島からもおいでください、同窓生の参加(市議や保護者も含め)は二百名を超えました。

式典に先立ちホームカミングデイを行いました。第二体育館に同窓生の写真パネルを展示、生徒会長から歓迎の挨拶をいただき、応援団が凱旋歌で迎え、エールを送ってくれました。その後、ブラスパンドのアンサンブルの演奏と

学校見学をしました。

式典は、厳粛に執り行われましたが、その中でかたれあコラスの皆さんと一年生による女学校の校歌「愛の花輪」の合唱が会場に爽やかさを与えてくれました。祝賀会では賑わいのある楽しい会になりました。できるだけ多くの方に挨拶をしようと頑張りました

が、あまりに同窓生が多く、半数に満たない方にしか挨拶ができませんでした。祝賀会後も担任の先生を囲みクラス会を開いていた人たちが沢山いたようで再会を喜びこの日を十分楽しんでくださったようです。参加してくださった皆様から楽しかったという話を沢山いただきました。

一つ問題は、「私のところには九十周年の案内が来なかった」という方がいたことです。案内は昨

学校長挨拶



創立九十周年事業を終えて

学校長 京 久 夫

十月一日、快晴のもと、創立九十周年記念式典・講演会、祝賀会が盛大に開催されました。これも、ひとえに、同窓会、PTA、地域の皆様方の絶大なるご支援、ご協力のお陰と思っております。

ありがとうございます。とりわけ、井上同窓会長様をはじめ、同窓会の皆様からの絶大なるご協力がなければ、これまでの創立九十

周年事業は成し得なかったと思っております。この紙面をお借りして、あらためて厚く感謝申し上げます。

今振り返ると、私は同窓会の皆様の母校に対する熱い思いや期待を実感しました。また、花輪高校の受け継がれてきた伝統の重さと求心力というものも感じました。学校は人々の心を繋ぎ、一つにま

年の十一月に会報と一緒に送付しましたが、あまりに早かったので詳しく見ることもなく放置してしまつたようです。適切な時期に案内を出すべきだったのでしようが、経費の関係で前年の会報と一緒に案内を出すしかなかったことをご理解いただき、お許しくださいますようお願いいたします。

九十周年の事業準備のため実行委員会を作つて二年半、実行委員の皆さんには心を込めて準備にあたりたいと思つていました。各部門の部長を同窓会の役員が務め、順調に計画を進めてまいりました。最後の詰めは先生方に頑張つていただきました。みなさんの努力と参加してくださりました皆様のお陰で成功裏に終わつたと思ひます。心より感謝申しあげます。

式典の挨拶でも述べましたが、これから百周年に向けて花輪高校がさらに発展をしてほしいものです。そして同窓会は、会員相互の親睦を図りながら母校の発展に大きな寄与ができる力をつけていきたいものです。

とめる存在になり得るといふことです。今回の九十周年記念事業に参加した人たちは、母校の存在意義を改めて確認するとともに、青春時代の思い出を懐かしみ、自己の人生を振り返る機会を得ることができたのではないのでしょうか。

在校生もまた、九十周年記念事業や記念行事に意欲的に取り組み、全校生徒が一つにまとまる貴重な経験ができ、よい思い出をつくることでできたと思ひます。そして、いずれは同窓生として、将来母校に集い、その時の思い出を語り合う時が来ることでしょう。

創立九十周年
同窓会行事に参加して

相馬 清美 (高20期)

毎年送つていただく「同窓会報・部活動後援会報」から母校の現況を確認させていただき、特に現役生徒の活躍からは、活力をいただけてまいりました。

高校在学中、吹奏楽の部活動に没頭した私は、上級生から下級生までが一緒に音楽を奏でることを通して、多くのことを学びました。そこで育まれたことは、高校卒業と同時に花輪を離れて48年経った今でも、私の生活の礎となっております。

「創立九十周年記念行事」の案内に、私はためらわず申し込みました。定年後の生活を送っていくにあたって、今一度高校時代に立ち戻つてみたかったのです。

当日、参加した私にとってのハイライトは、一年生当時部活で何かと面倒を見ていただいた二年生上の先輩と短時間で話してお話しできたことと、すでに故人となられました。顧問の佐藤修一先生が教育功労賞を受賞されたことでした。校地・校舎が替わつても同じ花輪高校で過ごした皆さんと一堂に会した「ホームカミングデイ」は格別でした。そして私にとつては「原点回帰」の一日でした。

この度の行事で学年幹事・学年代表幹事として活躍してくださった同窓生の皆さんお世話になりました。ありがとうございます。皆さんの存在は心強く頼もしいものでした。百周年で共に元気で再び会えることを今から楽しみにしています。

(所沢市在住)

『創立九十周年特別企画』

記念式典・祝賀会に参加して、百周年に寄せる夢・期待などを綴って頂きました。

今、そして百周年へ

関 幸一(定17期)

式典にあたり同窓会実行員会の方々、学校の担当の皆様に心からお礼を申し上げます。長期に亘り計画準備に大変だったと思います。また、式典にあたり生徒の皆さんの接待には本当に感謝しております。式典とは、かくあるものかとの心の中に深く沁み込んでいます。

花輪高校九十周年記念式典に参加させて頂き、校長先生の式辞、実行委員会会長のご挨拶、来賓の祝辞、生徒代表の挨拶は時間が守られ、無駄がなく、感激いたしました。かそれあコーラスの皆様の女学校校歌も、じつと耳を澄まして聞かせてもらいました。

祝賀会では祝いの謡曲『養老』を花輪宝生会の皆と精一杯謡うことができました。機会を与えて頂き、大変光栄に思っております。祝賀会の祝辞や挨拶の中で、鹿角の高校が統合されるとのことでしたが、関西支部長の坂本さんの挨拶の中で、百周年記念式典が終わってからとのことでしたが、私もまったくの同感です。是非、そうなることを祈っております。

(花輪在住)

創立九十周年を祝して

千葉 のり(女15期)

創立九十周年式典での「愛の花輪」のコーラスに、女学生だった当時のことが回り燈籠の如く思い出されて、懐かしさ一入のひととに浸ることができました。

同窓会員席は殆んどが高校卒の方々に、高女卒は、見渡せど私ひとりだったようで、永い歳月の経過をしみじみと感じた次第です。

祝賀会では、同窓生の中から、九十周年に相応しい年令の誰かをとのことだったそうで、図らずもご指名をいただき、祝舞として常盤津「鶴亀」を舞わせて頂きました。記念すべきこの会で、同窓生のひとりとして務めさせて頂きましたこと

は、身には、余る光栄と感謝いたしております。

花輪高校の益々の発展を



祈念し「文武両道」に励む生徒の皆さんの将来に期待をよせ、今後とも微力ながら応援いたして参る所存でございます。(花輪在住)

私の創立九十周年

加賀 六郎(高11期)

母校の創立記念行事の案内は、早期にいただいたので、個人としての準備は余裕をもって整えることができました。関係者の皆様は相当のご苦労があったものと思います。

私は札幌からこの行事に参加するにあたって、細かい計画を立て、健康管理に留意をした結果、無事に参加することができました。

会の席上で「百周年」のお話を伺い、「あと十年か」と不安がありました。会が進むにつれ、同期生との懇談の中で、「これを目標にがんばればなんとかなる」という話になった。つまり、規則正しい生活を心掛ければ「百周年」は夢ではないとの結論になった。

関係者の皆さん、十年後の「百周年」を宜しく願っています。

(札幌市在住)

記念式典に参加して

三森 睦美(高14期)

創立九十周年記念式典に14期として半世紀を超えて参加できたことは誠に幸甚なことでした。記念式典の開催にあたり、ご尽力された方々に對し、厚く御礼申し上げます。

私たちが学んだ頃と異なり素晴らしい施設と在校生の皆様の活動に感動いたしました。又、後輩諸

君の各分野での活躍が何もなくた世代の者として敬意を表します。

この度は卒業以来、同期生である関西支部の支部長の坂本氏にお逢いできたことは喜びのひとつでしたが、時間がなく親しく話ができませんでした。

今後、少子化の影響で地域の学校統合が現実のものとなりますが、新たな発展を祈念いたします。

(福島市在住)

青垣山を巡らせる

川村 義仁(高17期)

今回、九十周年の式典に参加して、次のような感想を持ちました。

一つには、参加者が予想外に少なかったにもかかわらず、再会を喜び、親睦を深めあう光景があちこちに見られたことです。母校への思いと、お互いの絆を再確認する出合いの場となりました。

二つには、在校生が思いの外少ないものの、大切に育てられている品行の良さを感じました。参加者への親切、ご丁寧な対応は素晴らしいものがありました。このような環境の下、女子駅伝などでの全国的な活躍は、高校と地域をあげての努力の賜物と思われれます。

更に、秋田県においては、小中学生の学力テストの成績が全国一との報道もあります。これらの様々な実績を踏まえて、来る百周年が、花輪高校のより一層の飛躍

と発展につながる記念すべき年になることを期待しております。

(藤沢市在住)

懐旧談に花咲かせ

遠藤 正子(高18期)

式典当日は、駐車場や校舎の入口での案内、校舎内での生徒たちの気持ちのよい対応を受け、さわやかに始まりました。

ホームカミングデイでは、力強い応援団のデモンストレーションと、アンコールに添えて予想外の演奏をしてくれた吹奏楽部に、場は盛り上がり、大きな拍手と声援に包まれました。同窓会とはいえない様々な年代にわたっての集まりです。初めは、よそよそしかった参加者も、若い力のパフォーマンスで一気にうちとけました。

在校生とともに臨んだ式典、講演会では、世代を超えて、花輪高校の同窓という共通の土台の上での時間を刻むことができたように思います。

卒業して五十年、今や老境に入った身ながらも、再会したクラスメイトたちと時を忘れ、懐旧談に花を咲かせ、心に残る一日となりました。

(盛岡市在住)

九十周年を終えて

田村 行(高25期)

普通った道は、砂利道から舗装道路に、校舎も木製内装の新しい校舎に変わって卒業後の長い年月

平成28年度 同窓会予算書

収入の部

単位：円

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	摘 要	27年度決算額
1. 会 費	1,507,680	1,513,440	△ 5,760		1,545,000
(1)会費	900,000	900,000	0	同窓生会費	933,000
(2)入会費	607,680	613,440	△ 5,760	@1,440円×422人	612,000
2. 繰越金	546,180	991,289	△ 445,109		991,289
3. 繰入金	2,283,756	0	2,283,756	定期預金解約(2件分)	0
4. 諸収入	384	271	113		10,357
合 計	4,338,000	2,505,000	1,833,000		2,546,646

支出の部

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	摘 要	27年度決算額
1. 会議費	50,000	100,000	△ 50,000	総会費用他	42,325
2. 会務金	910,000	730,000	180,000		584,306
(1)旅費	280,000	200,000	80,000	支部総会出席旅費	23,142
(2)消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品等	11,124
(3)通信費	550,000	450,000	100,000	同窓会会報発送費等郵送料	502,250
(4)振込手数料	70,000	70,000	0	会費振込手数料	47,790
3. 事業費	470,000	470,000	0		378,315
(1)印刷費	360,000	360,000	0	会費振込用紙、会報(2回)	297,072
(2)記念品費	60,000	60,000	0	卒業記念品(印鑑ケース)	54,000
(3)広告費	30,000	30,000	0	高校野球応援広告他	7,243
(4)広報費	20,000	20,000	0	ホームページ充実費用	20,000
4. 渉外費	30,000	30,000	0		0
(1)渉外費	10,000	10,000	0	渉外活動費	0
(2)慶弔費	20,000	20,000	0		0
5. 助成費	730,000	620,000	110,000		580,000
(1)部活動助成費	410,000	410,000	0	インターハイ運動会、部活後援会助成	380,000
(2)進路指導助成費	150,000	150,000	0	進路指導助成	150,000
(3)支部助成費	150,000	60,000	110,000	東京・秋田・関西支部	50,000
6. 備品費	14,000	14,000	0	卒業アルバム	13,000
7. 積立金	0	400,000	△ 400,000	定期預金	400,000
8. 繰出金	2,000,000	0	2,000,000	創立90周年記念事業会計へ	0
9. 雑 費	2,000	2,000	0		432
10. 予備費	152,000	139,000	△ 7,000		2,088
合 計	4,338,000	2,505,000	1,833,000		2,000,466

収入総額	4,338,000
支出総額	4,338,000
差引残額	0

定期預金 (H27積立分)	400,000
---------------	---------

平成27年度 同窓会決算書

収入の部

単位：円

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (B)-(A)	摘 要	26年度決算額
1. 会 費	1,513,440	1,545,000	31,560		2,035,640
(1)会費	900,000	933,000	33,000	同窓生会費 418名	1,415,000
(2)入会費	613,440	612,000	△ 1,440	@1,440円×425人	620,640
2. 繰越金	991,289	991,289	0		639,237
3. 諸収入	271	10,357	10,086	預金利息 同窓会会員名簿代	114
合 計	2,505,000	2,546,646	41,646		2,674,991

支出の部

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (B)-(A)	摘 要	26年度決算額
1. 会議費	100,000	42,325	△ 57,675	総会費用	26,632
2. 会務金	730,000	584,306	△ 145,694		627,703
(1)旅費	200,000	23,142	△ 176,858	秋田支部総会	146,053
(2)消耗品費	10,000	11,124	1,124	印刷用紙代他	8,676
(3)通信費	450,000	502,250	52,250	同窓会報等郵送料	413,644
(4)振込手数料	70,000	47,790	△ 22,210	会費振込手数料	59,330
3. 事業費	470,000	378,315	△ 91,685		398,447
(1)印刷費	360,000	297,072	△ 62,928	会費振込用紙、会報(2回)	306,694
(2)記念品費	60,000	54,000	△ 6,000	卒業記念品(印鑑ケース)	45,260
(3)広告費	30,000	7,243	△ 22,757	高校野球応援広告	26,493
(4)広報費	20,000	20,000	0	ホームページ充実費用	20,000
4. 渉外費	30,000	0	△ 30,000		0
(1)渉外費	10,000	0	△ 10,000		0
(2)慶弔費	20,000	0	△ 20,000		0
5. 助成費	620,000	580,000	△ 40,000		410,000
(1)部活動助成費	410,000	380,000	△ 30,000	インターハイ運動会、部活後援会助成	380,000
(2)進路指導助成費	150,000	150,000	0	進路指導助成	0
(3)支部助成費	60,000	50,000	△ 10,000	秋田支部3万 関西支部2万	30,000
6. 備品費	14,000	13,000	△ 1,000	卒業アルバム	13,000
7. 積立金	400,000	400,000	0	定期預金	200,000
8. 雑 費	2,000	432	△ 1,568	残高証明書発行手数料	432
9. 予備費	139,000	2,088	△ 136,912	過年度分入会金返金	7,488
合 計	2,505,000	2,000,466	△ 504,534		1,683,702

収入総額	2,546,646
支出総額	2,000,466
差引残額	546,180

定期預金	1,883,629
定期預金 (H25・26積立分)	400,127
定期預金 (H27積立分)	400,000

司会の大役を終えて

兎澤 三果(高43期)

花輪高校創立九十周年おめでと
うございます。この大きな節目の
日の記念祝賀会の司会という役を
仰せつかりましたが、あまりの任
の大きさにお話をいただいた時は
身も竦む思いでした。

当日は花輪ばやしの演奏で皆様
をお迎えし、また舞台ではおめで
たいお祝いの席に相応しく花輪宝
生会の皆様による謡や、女学校15
期卒業の千葉様による祝舞なども
お披露目いただきました。中でも
圧巻だったのは、宴もたけなわと
なった頃、有志の方々による花高
応援歌「凱旋歌」の披露ではなかつ

を感じました。出迎えていただい
た先生や生徒、職員の皆様の明る
く親切な対応には、変わらぬ温か
さを感じた次第です。ホームカミ
ングデイでは、展示の写真やアル
バムを友人達と見ながら昔話に花
を咲かせ、アンサンブル演奏はア
ンコール曲も欲しかったです。か
の有名な北原白秋作詞、山田耕筰
作曲の花輪高等女学校の校歌は初
めて聴きました。二宮氏の講演も
素晴らしかったと思います。

高校再編により三校が統合され
ても、鹿角に生まれ育った若者の
学びの場であることに変わりな
く、世界に役立つ人間が沢山育つ
て行って欲しいと願っています。

(久喜市在住)

『は・な・わ』

阿部 純一(高44期)

花輪高校創立九十周年おめで
とうございます。この節目となる
九十周年の祝賀会会場にお花をい
けさせて頂く事ができ、大変嬉し
く思うと共に事業に携われた事で、
私を成長させてくれた花輪高校に
恩返しができたように思います。

どのようなお花で華を添えたら
よいかだいぶ考えましたが、9色
のお花を九十年という輝かしい歴
史の色に例え、永遠に続く大きな
花の輪「はなわ」を表現させて頂
きました。百周年に向け、これか
らまた新たな色で歴史を刻んでい
く花輪高校が、この先も色とりど
りの大輪の「はなわ」を咲かせて
ほしいと思っています。

(花輪在住・はなまん)

支部便り

『花高首都圏
同窓会小史』

花栄会幹事長

石井 政光（高15期）

昭和41年の晩秋、都心のホテルで花輪高校首都圏同窓会「鹿栄会」創立総会が開催されました。

花高卒業10年以上経ち、東京生活に慣れてきた4期生有志が発起人となり、親類関係等を調べて名簿を作成、連絡を取り合って第一回目の総会へ110名余の同窓生が集まりました。

私は学生でしたが4期の叔父から出席依頼があつて参加。学生は十数人、ホテルの庭で記念写真を撮りました。

会場は女学校卒業された和装洋装の淑女が多く、女医さんいると聞きましたが、華やかな印象が残っています。

初代会長に3期の根市均さん、副会長に4期の方3名が選ばれ、名称や会則を決議し、隔年で総会を開催していくことで発足した。

これ以降、隔年開



催を続けましたが予算案の予定人数に届かない時もあり、70〜100名の参加数でした。

平成7年に鹿角市7団体が統合して「東京鹿角会」が発足した。この会の役員を鹿栄会の役員が大半を兼任したことで、平成10年の15回総会から大幅な役員改選となり、4期の倍賞和子さんから9期の佐藤久志さんへ会長が代りました。新会長の下、鹿栄会は鹿角会と混同されているとの理由で「花栄会」と変更することになり第18回総会から使い始めました。

今年、第24回総会は創立から50年の節目でしたが、花高創立九十年と同年となりました。

花栄会は、同窓生の親睦と教養を深め、母校の発展に寄与して進みます。

（市川市在住）

.....

会員寄稿

『絵は待って
いてくれた』

佐藤 文夫（高21期）

絵を志して上京するも途中で筆を止めサラリーマンとして生きてきました。60歳で定年。その後両親



を引き取る。母親はすでに三度の脳梗塞を患い、入院先からの移転は難儀でした。施設が見つかり落ち着いたのが63歳の時です。

妻の勧めもあり、2014年元旦から再び筆を持ちました。実に43年ぶり独学での開始です。「描くなら個展を、時期は65歳の節目」自分勝手に決めてのスタート。この事を同級生に相談すると歓迎してくれた事を今でも覚えております。「これが全ての始まりです」それから個展やるなら「箔」が必要、そう思い四作目を初出品、初

の人選を得る。

その後公募展を探しては出品、全て入選、入賞、特別賞を受賞、順調な滑り出しでした。縁があり第42回近美展出品、初出品にして新人賞を獲得、会友に推挙、作家としての道が開けてきた事を感じておりました。プロへのターニングポイントと位置づけ開催いたしました。成功裏に終えられた事に感謝いたします。

個展の折、或る画家より寄稿を戴きました。寄稿の中でこの言

雪の發電所

第42回



葉が印象に残っております「絵は佐藤さんを待っていてくれたのです」そうです、絵は待っていてくれたのです。夢は待っていてくれたのです。まだ夢の入り口でしょう、もっと深く夢の世界へ...。ふる里を想い浮かべれば絵が浮かびます。私のホームグラウンドは鹿角かもしれません。個展成功の裏には同級生始め多くの方々の協力があります。

（野田市在住）

第43回近代日本美術協会展（近美展）に出品（10月30日〜11月6日東京都美術館にて開催）奨励賞受賞・会員に認定されました。



第43回 遺された風景 [油彩]

平成29年度
総会開催のご案内

- ・日時 平成29年5月14日（日）午後5時
- ・場所 鹿角パークホテル 2F鳳凰殿
- ・会費 4,000円
- ・申込先 ☎0186(23)2126
- ・担当 木村まで

創立90周年に思う

昨年度から同窓会に限り副会長を拝命しながら、ほとんど役に立っていないことをお許し下さい。そういう状況ではありましたが、今年度創立九十周年を迎えた母校の記念式典や記念祝賀会に参加できたことは、この上ない喜びでした。母校の歴史と伝統に触れ、恩師や諸先輩、同期生、後輩達との語らい、青春の一コマを取り戻すことができました。



我々が通った校舎がなくなり、現校舎となつて十年以上経過し生徒数も減少しておりますが、今も花輪高校生は文武両道を実践し、様々な分野で活躍しております。鹿角地区三校の統合計画が発表されてはおりますが、母校が百周年に向けて、確かな歩みを残していくことを願ひ、これからも同窓会に関わっていききたいと思ひます。

副会長 田中 忠美（高27期）